

産業観光局 予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
「新・京都市産業振興ビジョン（仮称）」策定記念フォーラム	平成22年度に「新・京都市産業振興ビジョン（仮称）」を策定することから、広く市民、企業、経済団体等にビジョンの周知を行うシンポジウムを開催する。 ＜成果目標＞ 本市の産業振興政策を広く企業・市民に理解してもらう。	2,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
商店街街路灯LED化推進事業	商店街街路灯の光源を水銀灯、蛍光灯から使用電力量及び電力料の削減並びに地球温暖化対策（CO2削減）に繋がるLEDに交換する助成制度を創設する。 【補助率】4/5以内 【補助対象】電球交換費用 ＜成果目標＞ 平成23年度までの2箇年で、市内商店街の80W相当の街路灯電球3,470個をLED化する。	30,240	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
まちづくり with you	商店会が実施主体となり地域活動団体（NPO、大学等の教育機関、自治会、女性会等）と連携して実施する事業に対して補助を行い、魅力ある商店街の形成と地域のにぎわいづくりを促す。 ＜成果（数値）目標＞ 商店街の特性を活かした振興策の実施による商店街及び地域の活性化	15,500	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討

※この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。

産業観光局予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
クリエイターによる 京都ブランド創造事業	<p>市長の委嘱のもと「京都市クリエイティブコンソーシアム（市内在住のクリエイターや芸術大学の学生20名程度）」を組織し、地域団体商標に登録した団体の中で、ブランド力を生かせず、購買につながらない商標ブランドをもつ組合・団体とのコラボレーションによるパッケージや商品の開発等を行い、新しい京都ブランドを創造する。具体的には、「京あられ」や「京飴」といったブランド商品を「おしゃれ〜」、「かわいい」をキーワードにマンガのキャラクターを活用したパッケージ、アートな感覚と洗練されたデザイン力を生かし、若者に受け入れられる商品開発等を行う。</p> <p>同コンソーシアムでは、コーディネーター（マーケティング・プロダクトマネジャー）を活用し、商品の開発段階から販路先と連携するとともに、新たな販路先を開拓するなど商品開発から販売までをトータル的に行う。</p> <p>また、マンガミュージアムとの連携により、開発した京都ブランド商品の販売と京都をテーマにしたマンガ展をマンガミュージアム内で行い、広くブランドのPRを図る。</p> <p>支援対象は「京都ブランド商標推進協議会」に参画する団体からの応募。</p> <p><成果目標> 地域団体商標登録された団体の活性化及び雇用の創出</p>	13,900	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
経済効果計測手法等研究プロジェクトチームの設置	<p>事業の実施に当たっては、その経済波及効果を計測し、費用対効果が税金投入に見合ったものであるかを検証し、市民に分かりやすく説明していくことが求められる。</p> <p>そのため、京都市における経済効果の考え方を整理するとともに、効果計測に必要なデータの整備手法、効果計測モデルの構築手法等を含めた基礎的な調査研究を実施するものである。</p> <p>具体的には、学識経験者を含めた研究プロジェクトチームを設置し、研究を行う。</p> <p><成果目標> 平成24年度末を目途に効果計測モデルを構築し、産業観光局所管の重要事業の効果を計測する。</p>	6,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討

※この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。